

中小規模向けセキュリティアプライアンス

Windows Vista・マルチ言語対応

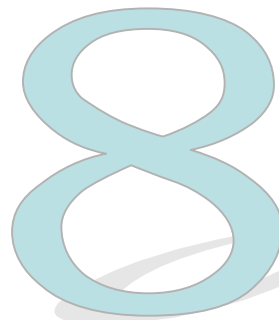
ルシーダ セキュアオフィス

Lucida SecurOffice V4.0G™



情報漏洩対策一式
お持ちしました！

広く使われている



つの特徴

一体化する新発想

セキュリティソフト



セキュリティサーバ

Lucida SecurOffice?

多機能なのに簡単 セキュリティなお手軽

「だから、とにかく簡単に！いまに大事な情報を見落とすよ。」

多くのセキュリティ製品は、機能毎に分かれて販売されていることが多いため、すべての機能を使うために幾つもの製品を購入しなければなりません。従って、費用も嵩んでしまい、管理する画面も複数使わなければならないことがあります。

『Lucida SecurOffice V4.0G』はあらゆる機能を一台に集約し、標準パッケージとして提供しています。

【Lucida SecurOffice V4.0Gのセキュリティ機能】

IT管理者不要設計



- パソコン操作禁止
外部媒体ファイルコピー、印刷、特定アプリケーション使用
- パソコン操作記録
全操作、社外持出中操作、時間外操作
- メール送信記録
- Webアクセス記録
- ネットワーク利用記録
- 未登録パソコン検出
- パソコン情報
ハードウェア・使用アプリケーション情報
- Webベース セキュリティレポート
- 一年分の記録保存
- 販売・導入容易なプラグ&プレイ

セキュリティ管理は、面倒くさい・人手が必要・お金も掛かる、何よりも使いこなせないかも……。でも、お客様や取引先に迷惑をかけるようなことはしたくない……。

そんな悩みを一気に解決する、とにかく簡単でお手軽なセキュリティ製品をお届けします。

「それなら、うちの会社にも役に立つかも！」

Q
Ans

情報漏洩対策って大変だよね？

いいえ

Q

PC操作ログ取得、印刷禁止、不正ソフト起動禁止、指定ドライブ書込禁止、暗号化など...色々な機器を買わなければいけないんだよね？

Ans

いいえ

必要とされる様々な製品機能を1つのサーバに全てをまとめました。

社内の状況は、1枚のセキュリティレポートだけを見てください。

1つのサーバにまとめた事で、全体数時間の導入作業で運用開始できます。

Q

専門の担当者が必要なんですよ？

Ans

いいえ

専門知識の無い方でも今お使いのパソコンから、1日20分程度レポートを確認するだけで社内のセキュリティ状況の把握が可能です。つまり、セキュリティ担当者が変わった際にもすぐに運用が出来るのです。

Q

セキュリティ製品って高いでしょ？

Ans

いいえ

Lucida SecurOfficeは、必要とされるアプリケーションを1台のサーバにまとめ家電感覚の導入を実現しました。これにより導入費用・保守費用を大幅に削減。さらに、面倒な導入作業や保守メンテナンスもワンストップで提供する事で、安価での導入を実現しました。

Lucida SecurOfficeV4.0Gは知識ある管理者専用の仕組みではありません。

私たちが目指すものは

「誰にでも」「簡単に」「使いこなせる」

「担当者が変わってもすぐに使いこなせる事」

絶えることの無い監視の実現それが・・・

Lucida SecurOffice V4.0G

活用シーン

企業の組織体系にあわせた導入が可能

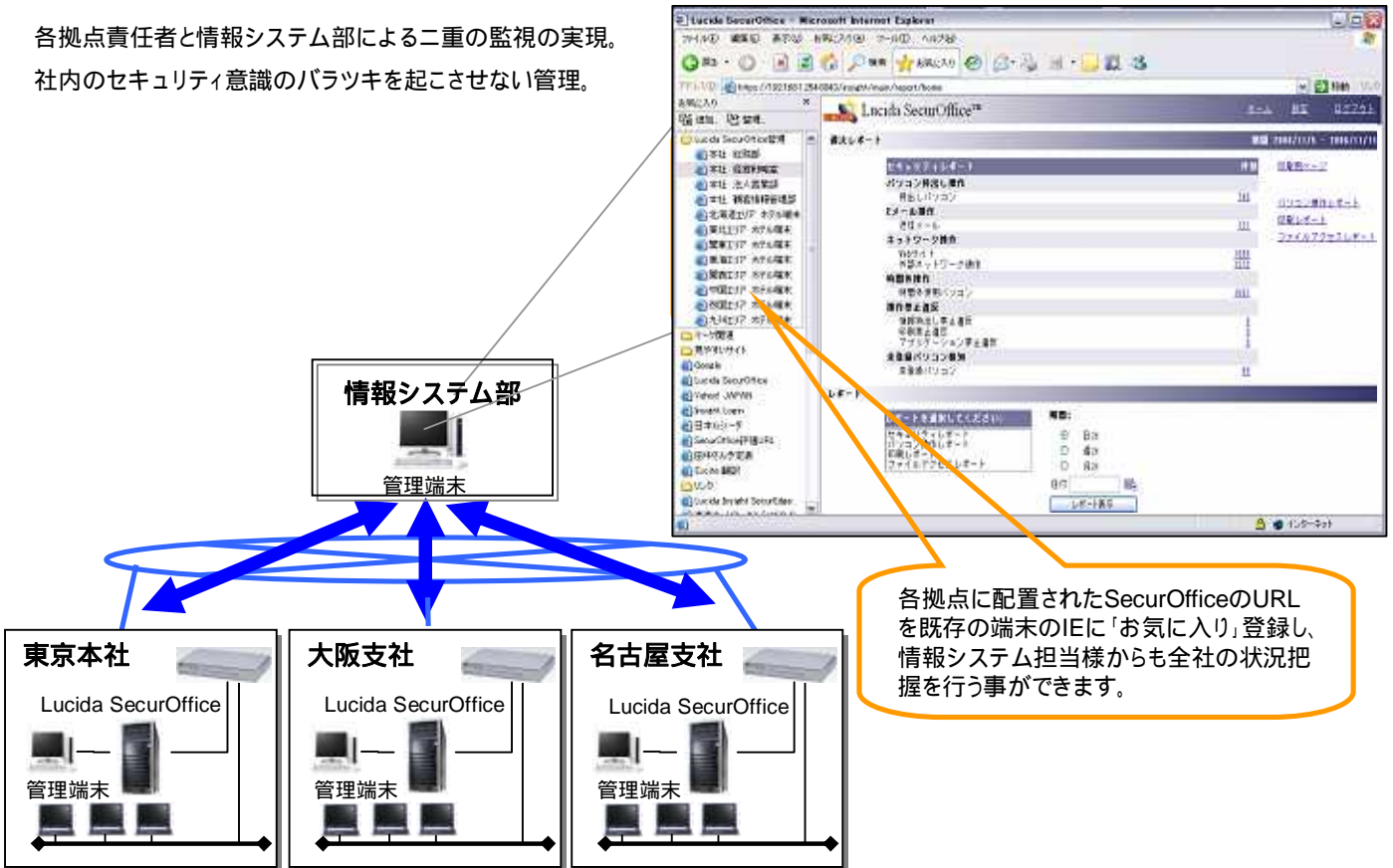
情報システム部主導の集中セキュリティ管理体制から現場単位でのセキュリティ管理体制へ。

現場のセキュリティは現場主導で管理できる体制の構築

拠点単位での管理

各拠点責任者と情報システム部による二重の監視の実現。

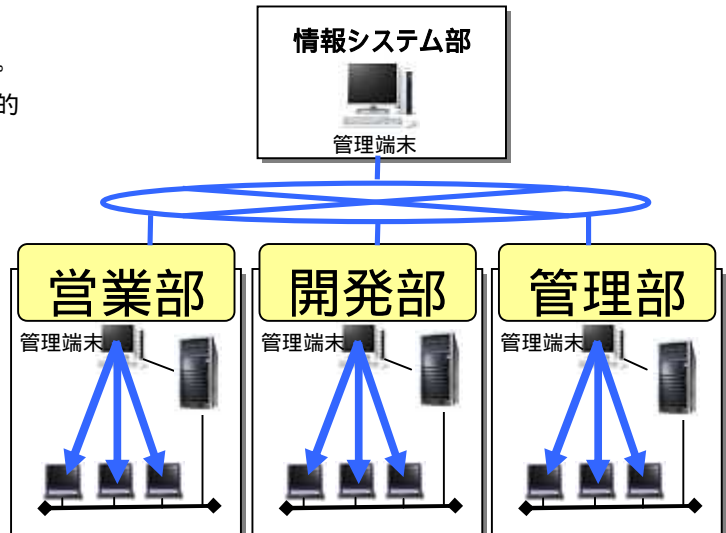
社内のセキュリティ意識のバラツキを起こさせない管理。



組織単位での管理

各部門責任者と情報システム部による2重の監視の実現。

部内のセキュリティ意識のバラツキを起こさせない、効果的な抑止効果の活用。

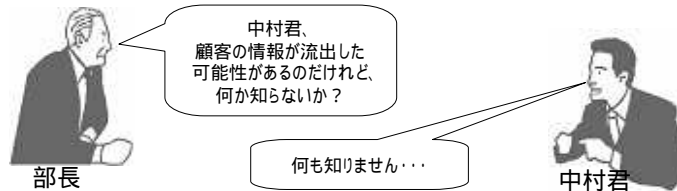


1 パソコン操作ログ取得

「記録される」ということ

パソコン操作記録で情報漏洩の抑止効果
不正使用・障害の手がかりとなる情報を記録

営業マン中村くんが・・・！？



営業マン中村くんの行動は・・・

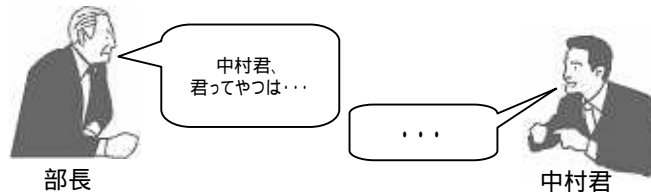
- ファイルサーバから「顧客リスト.xls」をデスクトップにコピー
- パソコンを持って外出
- 外出先にて「顧客リスト.xls」を開き追記
- 「顧客リスト.xls」を「プレゼン資料.xls」にファイル名変更
- 「プレゼン資料.xls」をUSBメモリーに保存
- デスクトップ上の「プレゼン資料.xls」を削除

ファイルアクセス - 詳細レポート

日時	ユーザー名	クライアントIPアドレス	クライアントMACアドレス	操作内容	ファイル名	変更前ファイル名
2006/11/1	REGJAPON	192.168.1.7	00-13-CE-A4-E7-7D	コピー	C:/_rpec/RCE0170.ini	
2006/11/01 1:42	営業部 中村英之			開く	C:/_rpec/RCE0170.ini	
2006/11/01 1:42	営業部 中村英之			開く	C:/_rpec/RCE0170.ini	
2006/11/01 2:12	営業部 中村英之			開く	C:/_rpec/RCE0170.ini	
2006/11/01 10:12	営業部 中村英之			開く	C:/_rpec/RCE0170.ini	
2006/11/01 10:12	営業部 中村英之			コピー	C:/Documents and Settings/中村英之/7723192*/顧客リスト...	77192.168.1.254*営業部顧客リスト
2006/11/01 10:12	営業部 中村英之			開く	C:/Documents and Settings/中村英之/デスクトップ/Lucida SecurOffice機能比較表.xls	
2006/11/01 10:13	営業部 中村英之			開く	C:/Documents and Settings/中村英之/7723192*/顧客リスト.xls	
2006/11/01 10:47	営業部 中村英之			削除	C:/Documents and Settings/中村英之/デスクトップ/Title	
2006/11/01 10:48	営業部 中村英之			開く	C:/Documents and Settings/中村英之/My Documents/業務関連/1.業務関連/1.クライアント関連/Dr.P/Dr._s/D_r_P	
2006/11/01 11:22	営業部 中村英之			名前の変更	C:/Documents and Settings/中村英之/7723192*/プレゼン資料.xls	C:/Documents and Settings/中村英之/7723192*/顧客リスト.xls
2006/11/01 11:24	営業部 中村英之			開く	C:/Documents and Settings/中村英之/デスクトップ/77KG植突問題答書/質問問題答書(コンピュータセンター) 061031.xls	
2006/11/01 12:32	営業部 中村英之			開く	C:/_rpec/RCE0170.ini	
2006/11/01 12:32	営業部 中村英之			開く	C:/_rpec/RCE0170.ini	
2006/11/01 12:32	営業部 中村英之			開く	C:/_rpec/RCE0170.ini	
2006/11/01 12:44	営業部 中村英之			コピー	F:/7723192*/資料.xls	C:/Documents and Settings/中村英之/7723192*/7723192*/資料.xls
2006/11/01 12:44	営業部 中村英之			開く	C:/_rpec/RCE0170.ini	
2006/11/01 12:59	営業部 中村英之			削除	C:/Documents and Settings/中村英之/7723192*/7723192*/資料.xls	
2006/11/01 14:00	営業部 中村英之			開く	C:/Documents and Settings/中村英之/デスクトップ/PI案件種別.do	
2006/11/01 14:00	営業部 中村英之			開く	C:/_rpec/RCE0170.ini	
2006/11/01 14:00	営業部 中村英之			開く	C:/_rpec/RCE0170.ini	

実際のレポート上は色は変化しません。

実際の勤務実態が一目瞭然！



1年間分の操作ログをこれ一台で保存

Lucida SecurOffice V4.0Gは、本体ハードディスクに過去1年間分の操作ログデータを保存していますので、過去の操作レポートをすぐに確認することができます。また、FTPファイル転送を用いて、簡単に外部媒体に保存することもできます。

不正操作禁止

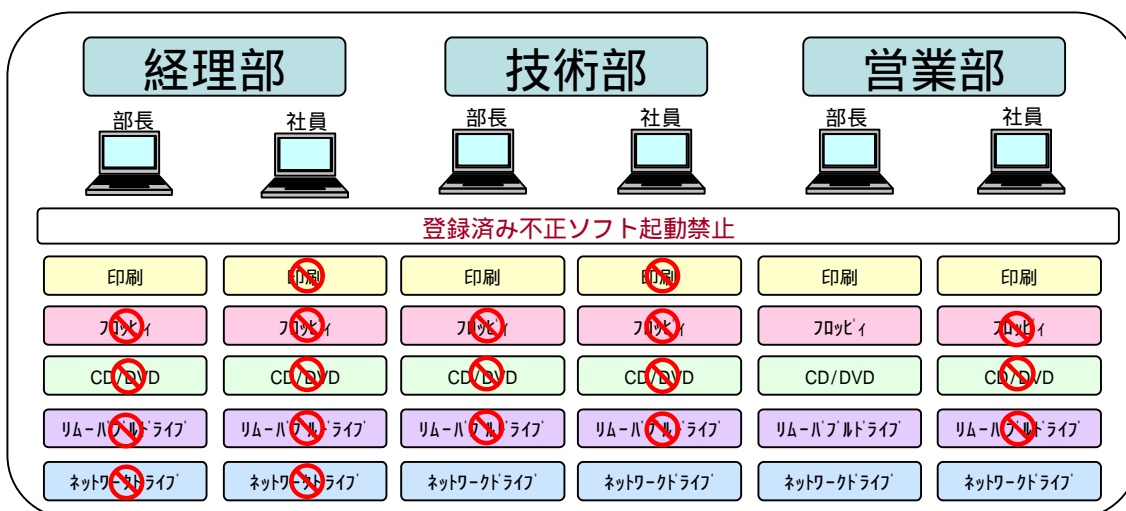
企業内部からの重要データ漏洩を制限・禁止

業務で利用しているパソコンのドライブを妨害することなくパソコン単位に必要な無いドライブへの書出しや印刷の禁止設定が可能。また、不正ソフトの起動禁止も可能。

実務の遂行とセキュリティ制限の両立を実現



パソコン単位での禁止設定



経理部はUSBでの情報持出しは危険だな。
技術部は印刷を制限して、
営業部は最小限の制限にして…
営業の中村だけは全て禁止にしておくかな。

部長

指定ドライブ書出し禁止

クライアントパソコン毎に禁止をかけたドライブの書出しを「禁止」設定する事で、FDやUSBメモリ、CD、DVDなどによるファイルの持出しを禁止することができます。また、ネットワークドライブを利用したファイルの持出しも「禁止」することができます。

指定ドライブ禁止はコンピュータ単位・ドライブ単位で「許可」「禁止」の設定を行えます。

印刷禁止

クライアントパソコン毎の印刷操作を管理します。ローカルプリンタ・ネットワークプリンタを問わず、ファイルの印刷を「禁止」します。

不正ソフト起動禁止

Winny等通常業務では使わないファイル交換ソフトはもちろん、利用禁止をかけたアプリケーションを登録する事で、アプリケーションの起動を「禁止」します。

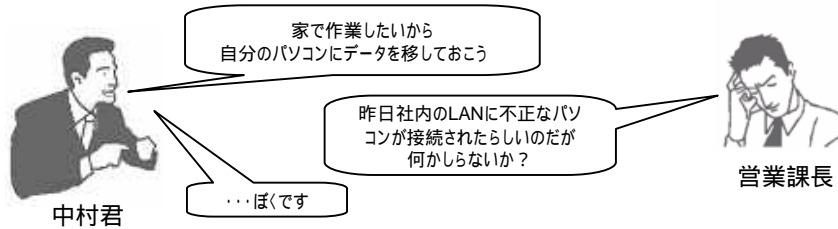
「禁止」設定のかかったアプリケーションを起動しようとした場合、実際のアプリケーション起動は行われず、禁止行為違反がデータに記録されます。

不正接続検知 (未登録パソコン検知)

許可されていないパソコンの接続を発見

個人所有パソコンなどの外部からの持ち込みパソコンの接続を検知、不正に持込まれるパソコンのネットワーク環境を把握。

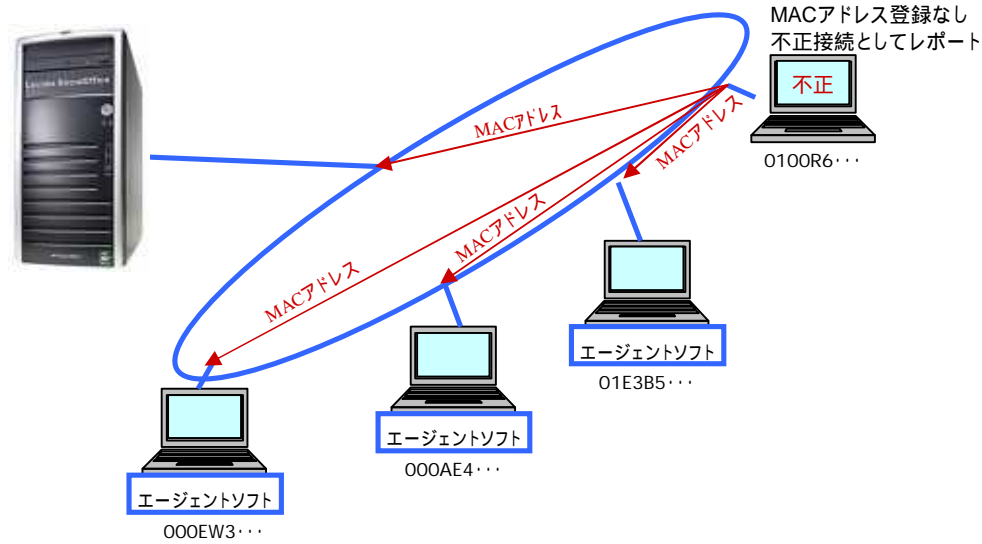
不正接続パソコンの把握で社内のモラルを改善



未登録パソコン検知の流れ

Lucida SecurOffice V4.0Gの不正接続検知は、クライアントパソコンから発信されるMACアドレスと、SecurOfficeサーバで保持している管理下のパソコンのMACアドレス一覧を随時照合し、存在しないMACアドレスのパソコンを不正接続パソコンとして検知します。

不正接続は、従業員の個人所有パソコン、パート・アルバイトのパソコン、協力会社のパソコン等様々です。



レポート表示

カテゴリ	件数
セキュリティレポート	
パソコン検出時操作	
突出しパソコン	1/6
Eメール操作	
送付メール	1/1
ネットワーク操作	
Webサイト	1/1/6
外部ネットワーク通信	1/1/1
時間帯操作	
時間外使用パソコン	1/1/1
操作禁止違反	
強制終了し禁止違反	1/1/1
印刷禁止違反	1/1/1
アプリケーション禁止違反	1/1/1
未登録パソコン検知	
未登録パソコン	1/1

詳細レポート表示

IPアドレス	クライアント名	IPアドレス	MACアドレス
192.168.1.1	192.168.1.1	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.2	192.168.1.2	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.3	192.168.1.3	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.4	192.168.1.4	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.5	192.168.1.5	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.6	192.168.1.6	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.7	192.168.1.7	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.8	192.168.1.8	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.9	192.168.1.9	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.10	192.168.1.10	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.11	192.168.1.11	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.12	192.168.1.12	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.13	192.168.1.13	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.14	192.168.1.14	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.15	192.168.1.15	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.16	192.168.1.16	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.17	192.168.1.17	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.18	192.168.1.18	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.19	192.168.1.19	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00
192.168.1.20	192.168.1.20	00-00-00-00-00-00	00-00-00-00-00-00

送信メール確認

いつ！誰に！どんなメールを送ったか？

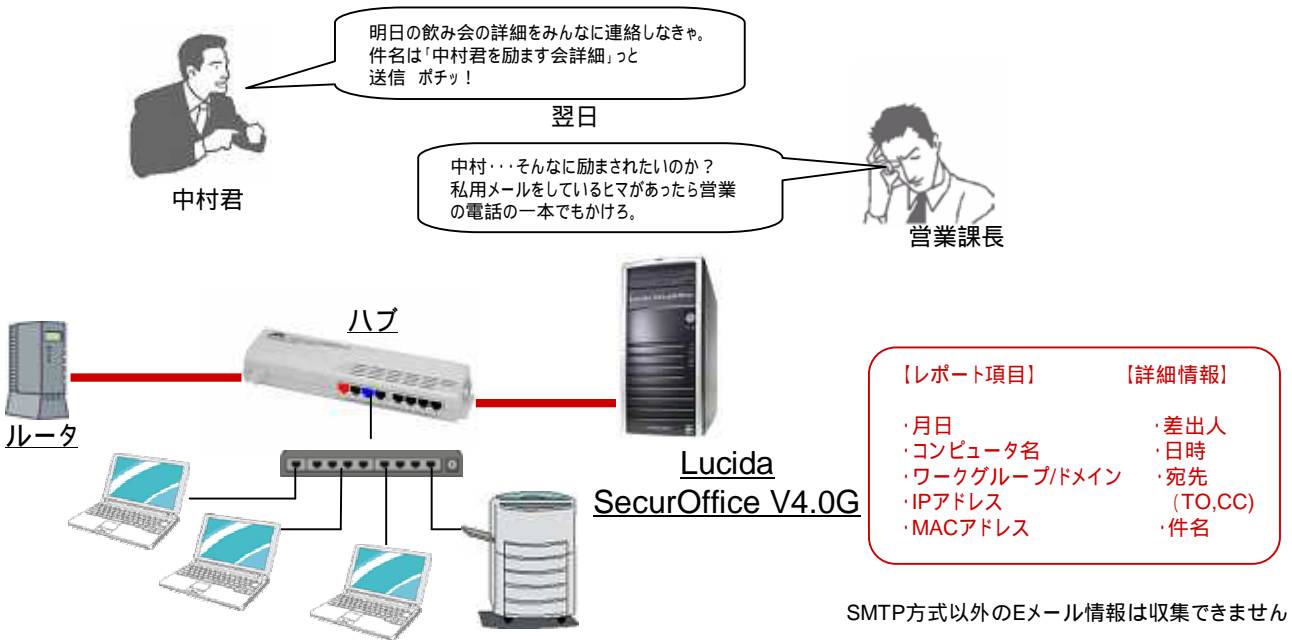
メールソフトの起動・終了はエージェントソフトで把握できても・・・

実際にいつ、誰が、誰に、どのようなメールを送っているかを確認することは、非常に困難です。社内から私用メールを送信している場合も・・・

社内でのメール利用状況の把握も実現

送信メール状況の確認

Lucida SecurOffice V4.0Gは、ネットワーク情報を取得してメールの内容についてレポートする機能を持っています。通常のセキュリティシステムでは、メール監視専用のパッケージ等を導入して監視する形がほとんどですが、ネットワークの情報もレポートできるのが、大きな特徴です。



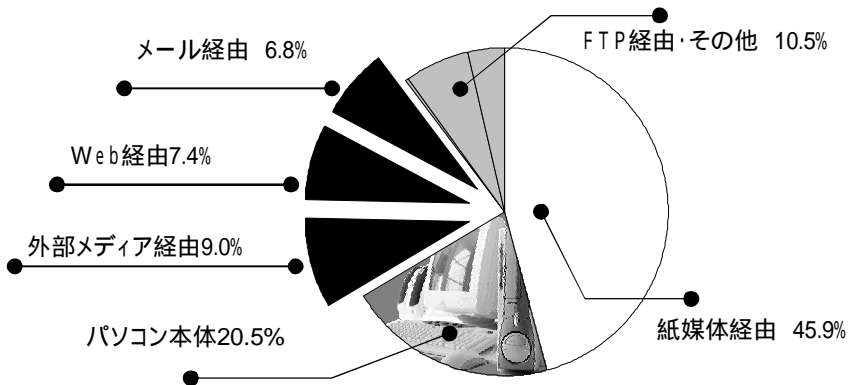
メールからの情報漏えい防止に

Point

メールでの情報漏えいは、益々増える傾向にあります。社員がどのようなメールを送信しているかを監視することにより、ネットワークを使った情報漏えい対策にも効果があります。

顕在化しているメール経由での被害は右図の結果だが、潜在的な被害はさらに多いと言われています。

【個人情報漏洩経路の件数比率】



万が一の事態を想定できていますか？

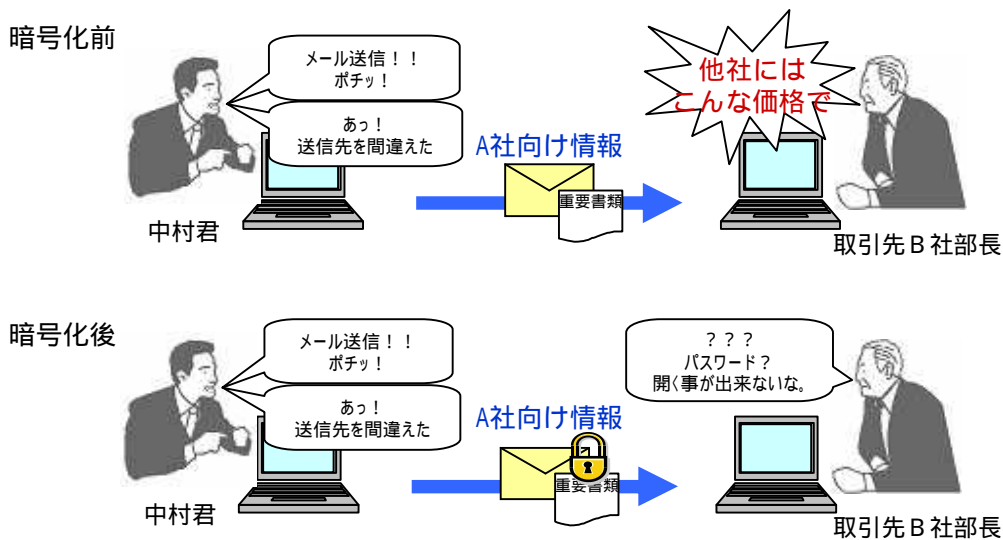
企業内部からの情報漏洩、パソコンの「盗難」や「紛失」など、重要データは常に思わぬ危険にさらされています。

個人の注意でどうにもならない事態への対応を日常業務に。

無くなってから悔やむ前に先手のファイル保護

また中村君が...

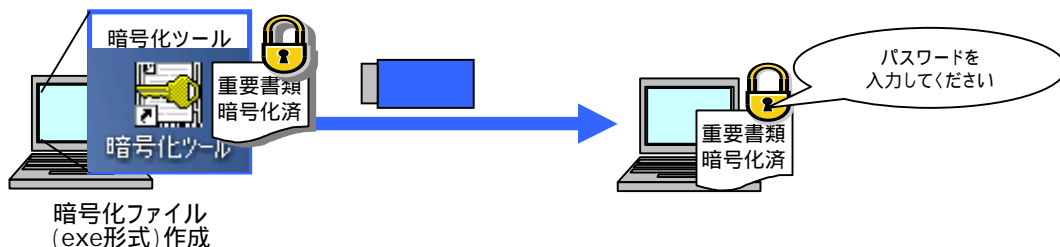
うっかり者の中村君は、取引先に他社へ提出した見積りを誤送信！！



暗号化ファイルの運用

Lucida SecurOffice V4.0Gの暗号化は、専用の暗号化ツールをインストールし暗号化したいファイルを暗号化ツールのアイコンにドラッグ&ドロップするだけで暗号化されます。

暗号化について



暗号方式について

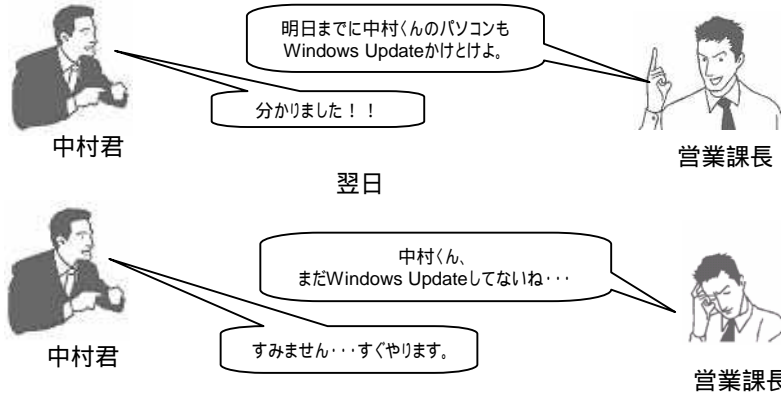
Lucida SecurOffice V4.0Gの暗号化は、米国政府が推奨し、安全性が評価されているAES暗号ロジックを採用しています。

パスワードをキーに暗号化します。

資産情報取得

企業内のパソコンの現在の状況を素早く把握

管理パソコンに入っているアプリケーション一覧やインストール状況、ハードウェアのスペックについて、最新の資産情報を把握。



ソフトウェア

今現在の管理パソコン内に存在するアプリケーションの状態、アプリケーションを追加・削除された履歴を素早く表示。不正なインストール・アンインストールをすぐに把握することが可能です。



アプリケーション一覧

アプリケーション追加・削除一覧

ハードウェア

社内の管理パソコンの OS・CPU・メモリ・HDD 空き容量の現在の状態を素早く表示。

コンピュータ名	OSバージョン	OS ServicePackバージョン	IEバージョン	IEマイナーバージョン	メモリ容量	CPU	CPU速度	ハードディスク(空き容量/総容量)
IBM-4E7F83B0D38	Windows XP Professional	Service Pack 2	6.0.2900.2180	SP2	1526 MB	Intel(R) Pentium(R) M processor 1.30GHz	1496 MHz	C: 35.4 GB/31.9 GB D: 0 Bytes/0 Bytes
LUCIDA-CL	Windows 2000 Server	Service Pack 4	6.0.2600.1106	SP1	747 MB	Intel(R) Pentium(R) 4 CPU @ 1.50GHz	1300 MHz	C: 31.5 GB/66.3 GB E: 0 Bytes/0 Bytes
ORBOJAPON	Windows XP Professional	Service Pack 2	6.0.2900.2180	SP2	1014 MB	Intel(R) Pentium(R) M processor 1.20GHz	1197 MHz	C: 36.2 GB/55.9 GB I: 0 Bytes/0 Bytes
OWNER-FFF4F2TE	Windows XP Professional	Service Pack 2	6.0.2900.2180	SP2	302 MB	Intel(R) Pentium(R) M processor 900MHz	595 MHz	C: 3.4 GB/34.2 GB D: 0 Bytes/0 Bytes
URR2	Windows XP Professional	Service Pack 2	6.0.2900.2180	SP2	958 MB	Intel(R) Pentium(R) M processor 1100MHz	1097 MHz	C: 21.7 GB/57.3 GB D: 0 Bytes/0 Bytes E: 0 Bytes/0 Bytes Z: 0 Bytes/0 Bytes
YOUR-9C0CFBA433	Windows XP Professional	Service Pack 2	6.0.2900.2180	SP2	1014 MB	Dell Inspiron CPU U1300 @ 1.86GHz	1064 MHz	C: 44.2 GB/53.9 GB E: 0 Bytes/0 Bytes

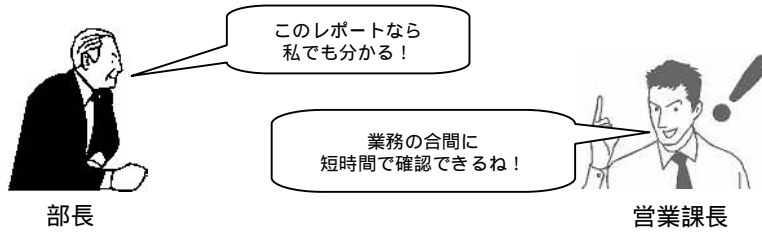
取得項目
コンピュータ名
OSバージョン
OS ServicePackバージョン
IEバージョン
IEマイナーバージョン
メモリ容量
CPU
CPU速度
ハードディスク(空き容量)
ハードディスク(総容量)

専門の知識がなくても社内の状況を把握できる

セキュリティ管理の専門知識のない担当者でも1枚のレポートを確認するだけで社内の状況が把握できます。

詳細情報も直感的な操作で確認できるレポートを実装。

通常業務の負荷にならないセキュリティ管理を実現



セキュリティレポート

【週次レポート】

先週一週間の社内の状況を数値でレポートします、詳細情報はレポート件数をクリックする事で詳細情報を確認する事ができます。

【設定】

各種禁止設定・資産情報を確認。

セキュリティイベント	件数
パソコン持ち出し操作	245
持ち出しパソコン	111
メール操作	1336
送信メール	1332
ネットワーク操作	1801
Webサイト	0
外部ネットワーク通信	0
時間外操作	0
時間外使用パソコン	0
操作禁止違反	0
後継持ち出し禁止違反	0
印刷禁止違反	0
アプリケーション禁止違反	0
未登録パソコン検知	33
未登録パソコン	0

レポートを選択してください

- セキュリティレポート
- パソコン検出レポート
- 印刷レポート
- ファイルアクセスレポート

期間: 日次, 週次, 月次

レポート表示

詳細レポートへドリルダウン

【各種レポート】

各種レポート及び日次・週次・月次レポートを選択表示します。

機能一覧

機能グループ	機能	概要
操作監視	社外持出しパソコン操作履歴	各パソコンの社外で使用したパソコン操作を記録
	パソコン操作履歴	全パソコンの操作ログ(操作ウィンドウの名前)を全て記録 パソコン操作レポートからドリルダウンで詳細レポート表示 (レポート形式は持出しパソコンのレポートと同じ。電源ON/OFFも表示)
	時間外・週末パソコン操作履歴	夜間や週末の各パソコンの操作履歴を記録
	パソコン稼働履歴	各パソコンの起動・終了を記録
	印刷履歴	各パソコンからの印刷操作を記録
	アプリケーション操作履歴	各パソコンで使用したアプリケーションの操作記録
	ファイルアクセス履歴	各パソコンで使用したファイルのアクセスを記録
	送信メール履歴	各パソコンから送信したメール情報を記録(サブミッションポートへの対応)
	Webサイトアクセス履歴	各パソコンからのWebサイトアクセス履歴を記録
	事務所外へのアクセス履歴	各パソコンの事務所外マシンとの通信記録
	アプリケーションの追加/削除の履歴	各パソコンのアプリケーションのインストール又はアンインストールを記録
	未登録パソコン検知機能	エージェントソフトをインストールしていないパソコンを検出し、 日報・週報・月報形式でレポート
操作禁止	情報持出し禁止	パソコンからデバイスへのファイルコピーを禁止
	印刷禁止	パソコンからの印刷をパソコン単位で禁止
	アプリケーション稼働禁止	動作禁止したいプログラムの使用を禁止
	エージェントソフトの アンインストール禁止	インストールされたエージェントソフトのアンインストール禁止
暗号化	ファイルの暗号化	重要な文書を暗号化して保存(パソコン機能)
レポート	セキュリティサマリー	異常操作、メール送信状況、違反行為などをレポート(日次・週次・月次)
	詳細レポート	セキュリティサマリーからドリルダウンで詳細情報表示し、違反行為の分析と対策
	E-mailレポート送信	E-mailでレポート作成完了を通知
IT設備管理	パソコン資産情報	各パソコンのOS名、OSバージョン、ハードウェア情報の表示
	アプリケーション一覧	各パソコンにインストールされているアプリケーション一覧表示

管理者用端末

推奨スペック	CPU : Intel Pentium 800MHz以上 メモリ : 256MB以上 HDD : 500MB以上の空き容量
必要動作環境	O S : Windows 2000/XP Home/XP Pro 他 : Microsoft Internet Explorer 6.0以上 / Office 2000スタンダード以上 Java環境 (Sun Microsystems Java Runtime Environment Ver5)

利用者用端末

推奨スペック	CPU : Intel Pentium 500MHz以上 メモリ : 128MB以上 HDD : 100MB以上の空き容量 (インストールの際、一時的に300MBの空き容量が必要です)
必要動作環境	O S : Windows 98SE / 2000/NT4.0/XP Home/XP Pro/Vista

(お問合せ先)

